



清流くん

## 千代川流域圏会議10周年記念シンポジウム

## 誌上ダイジェスト

昨年11月17日に開催された千代川流域圏会議10周年記念シンポジウム。先月号でご紹介しましたが、今号ではその際に行われたパネルディスカッションの内容をダイジェストでご紹介します。

## ★パネルディスカッション

コーディネーター

道上 正規氏 千代川流域圏会議 会長

パネリスト

栗嶋 道和氏 袋川をはぐくむ会 会長

安藤 重敏氏 鳥取県立博物館 副館長

近藤 明氏 城北高校ボランティア部 部長

福留 脩文氏 (株)西日本技術研究所 代表取締役

美甘 頼昭氏 元 鳥取県土木部



左から道上氏、美甘氏、安藤氏、近藤氏、栗嶋氏、福留氏

**道上会長** 福留さんは全国の川を見ておられると思いますが、鳥取の川にはどういう印象を持っていますか？

**福留氏** 上流から下流にかけて大きな石から小砂利までバランスが非常にいいと感じました。それが残念ながら「のっぺら」になっているから、これをもう一度組み直すと生き物にとって凄くいい川になるなと感じました。

**道上会長** それでは千代川の魚について、他と比べて安藤さんお願いします。

**安藤氏** 千代川とつながっている湖山池を含めて、千代川本川と支川には92種類の魚が棲んでいます。そのうち22種類は海と川とを行き来している魚です。この数は山陽の川と比べて非常に多数です。またブラックバスやブルーギルなどのように、よそから持ち込まれた魚もいます。いろいろな魚がいますが、魚の種類からすると千代川は豊富だといえます。

**道上会長** 外来種が増えてきているようですが、これは望ましくないことなのでしょうか？

**安藤氏** 魚は棲み場所や産卵場所や避難場所などを奪い合うものですから、いろいろな問題を引き起こします。故意にいろんなところから魚種を持って来るのはよくないですね。

**道上会長** 皆さんも注意しないといけないということですね。栗嶋さんは袋川をはぐくむ会の活動をしておられますが、その苦労話などあれば。

**栗嶋氏** 今から11年前に、今日おいでになっています福留さんと、美甘さんに出席頂いて、これからの袋川をどうしたらよいかシンポジウムを開きました。そこで出てきたのが、いわゆる多自然型川づくりで、そういう立場から袋川を改修したらどうかということで、袋川をはぐくむ会を結成したわけです。両側コンクリートで固められた川を、自然に返す方法はないかということで、官民一体となって取りくみました。コンクリートの前に杭を打って、右岸と左岸交互に大きな石を置き、蛇行させたわけです。そうすると石の上に土が溜まり、水草が生え、いつしか魚の姿が見えるようになってきました。今は21種類の魚がいます。水質もよくなっているということです。

**道上会長** 非常に実践的にやられているわけですね。美

甘さんは千代川の支流をはじめ県内の川で多自然型川づくりを実践されてこられました、そのあたりのお話を。

**美甘氏** 八東川のケースですが、全然水が流れていないところを広げて、全体の水を安全に流していこうとしたわけです。その計画の際に地域の方々も参加していただけるということになり、いろいろな話を伺ったところかつてそこには大きな淵があったと聞きました。じゃあその淵を再現しようということになり、再現しました。この事例は平成10年に川の日ワークショップで発表しグランプリを受賞したことで全国の注目を集めました。計画の段階から住民参加の川づくりということで、いろいろな意見を聞きながら進めていきました。住民が参加して行政と協働しながら地域をよくしていくという、一つのケースになったんじゃないかと思います。

**道上会長** ありがとうございます。次に、川というのは我々に安らぎを与えてくれるものでもあると思うんですが、いろいろ手がけてこられた栗嶋さんお願いします。

**栗嶋氏** 今の千代川は、スポーツ広場や自転車道など市民の憩いの場としては十分に管理されていると思います。河川敷の利用はそれでよいと思いますが、川に目が向いていないのではないのでしょうか。それは川の中に入って遊べる場所があまり無いからだと思います。そういう所をつくることも大切だと思いますし、アユが釣れる場所も少なくなりました。それはかつてアユが集まる淵があったということですが、今後の河川事業はそういう場所をつくっていくことも必要だと思います。

**道上会長** 近藤君はどうですか？

**近藤氏** 小さい頃には千代川フェスティバルに参加したり魚釣りをしたりという機会があったんですが、今はあまりありません。魚釣りやつかみ取りなど、川と触れあうイベントを増やして欲しいです。

**道上会長** ぜひ友達といろいろ提案してくれればと思います。それでは皆さん、一言ずつ千代川に関わるメッセージをお願いします。安藤さんから。

**安藤氏** 将来の自分に対する戒めも含めてですが、私はこれからの生き方の中で、魚の立場で物事を見たら、

裏面に続く



ということを考えていきたいと思ひます。

**美甘氏** とにかく、広い生活空間の中で捉えていく。その生活空間の中では人間だけでなく多種多様な生き物が生活しています。川づくりだけでなく全てについて、そういうものを対象に広い視野で捉えていくと。そういうことが循環型社会の形成になっていくんだと思ひます。

**近藤氏** きれいな千代川を守っていくためには一人一人の心がけが必要だと思ひます。生活排水を出さないとか、植林活動とか、身近にできることから取り組んでいきたいと思ひます。

**栗嶋氏** 川というのは山の栄養を海に送るという大きな役割があります。多くのプランクトンを川に流し、川の魚たち、そして海の魚たちが育ち、また私達が恩恵を受ける。みんながそれぞれの立場でこの山、川、海という三つを何か一つの目的を持って関わっていければと思ひます。

**福留氏** 日本の国内で、まだ本当にきれいな田舎が残っているところがあります。共通しているのは山と川と海とがそれほど大きくないスケールで連続しているところです。昨日、千代川を見ましたが、流しびなのところですかね、これからまだ美くなる可能性がある千代川と山並み、道路が非常に素晴らしかったのが印象的です。ぜひ、

海まで含めて一体的に、いい千代川にさせていただくことを期待しています。

**道上会長** ありがとうございます。今日の皆さんの話を聞いていると、川というのは多様性を持った自然であると。従って、あまり単純化してしまうとうまくいかない。河川というのは似ているようだけど、それぞれ顔が違います。多様性を大切にすることで私たちの社会を持続的に発展、維持していくことが可能ですから、あまり単一的に考えてはならないということです。他の川の真似ではだめということです。いろいろ考えて、住民の皆さんと一緒に川づくりをやっていけば、いい川ができるのではないかとというのが、皆さんの意見のようです。どうも長時間にわたってありがとうございました。



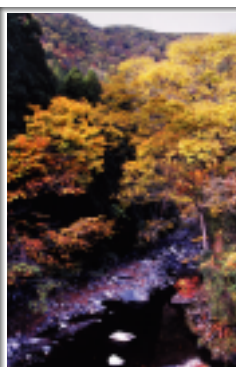
## 千代川写真館

「第17回千代川写真コンクール」において、季節賞に選ばれた作品の中から、3点ご紹介しします。



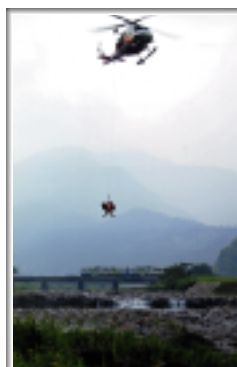
【撮影にあたって】  
霊石山から眺める千代川、黄金色の田園風景はすばらしかったです。山頂では秋風が心地よく吹き抜け、空中遊覧を体験してみたいと思ひました。(撮影場所：鳥取市河原町霊石山)

季節賞「初秋を飛ぶ」野田みつ子さん



【撮影にあたって】  
紅葉と川を求めて、千代川支流のあちこちに出かけたが、地元の人のお話でも「ここの紅葉はどうもいけませんな」。というわけで、錦秋というものに出会えなかった。この作品は若桜町・来見野川でようやく見つけた秋らしい色あいの風景。(撮影場所：八頭郡若桜町諸鹿)

季節賞「深まる秋」岡本 彪さん



【撮影にあたって】  
河川での事故に備えて、救助訓練が、私の住む徳丸の八東川、徳丸どんどで行われました。親水公園として多くの人に親しまれていますが、万一の時のために、日頃からの訓練が、訪れる人の安心、安全を守るものだと思います。(撮影場所：八頭郡八頭町徳丸八東川徳丸どんど)

季節賞「徳丸どんどの備え」森永 光信さん

### 千代川写真コンクール展示会日程表

展示会場	展示期間
ギャラリー県庁	平成20年 1月30日～平成20年 2月 5日
河原町中央公民館	平成20年 2月 7日～平成20年 2月12日
中電ふれあいホール	平成20年 2月15日～平成20年 2月20日
智頭駅南側 長瀬 福祉 総合センター 3階の部屋	平成20年 2月21日～平成20年 2月25日
佐治町中央公民館	平成20年 3月 1日～平成20年 3月 2日

## 賛助会員 募集中!

この清流を守る行動計画を実行する際に、多くの流域の皆様が千代川の清流について関心を持っていただくとともに、皆様による行動の参加がありますと、清流を守る行動をより充実させることができます。つきましては、当流域圏会議では賛助会員を募集いたしておりますので、趣旨に賛同していただける方は、ご加入くださいますようお願い申し上げます。

千代川流域圏会議  
会長 道上 正規

- ①会費は、清流を守る行動計画の実行のために使用します。
- ②会員となった方は、会員証を発行します。  
流域の協賛施設で割引などの特典を受けることができます。  
1年に1回、会計報告と会議の活動報告をお送りします。
- ③流域内の施設で割引などの特典を受けることができます。  
【対象施設】若桜ゆはら温泉 ふれあいの湯・わかさ温水プール・さじアストロパーク・もちがせ流しびなの館
- 申込用紙は圏域内にある郵便局に置いてあります。

### 清流を守る行動計画

1. 清流保全宣言の制定
2. 千代川の森づくり
3. 水質の保全
4. 住民参加の推進
5. 活動の紹介

### 年会費

賛助会員(個人)	1,000円
(団体)	10,000円
(一家族)	1,500円



事務局だより

2008年は4年に1度のうるう年。オリンピックでもあります。今年北京で開催される北京オリンピックを楽しみにしている方も多いのでは。競技の中には、カヌーやカヤックなど川で行われるものもあります。あまり派手さはない競技なのでテレビ中継などがあまりないかもしれませんが、興味を持たれたら千代川でチャレンジしてみは?

(発行・編集)

## 千代川流域圏会議事務局

〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地  
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課内  
TEL 0857-22-8435 FAX 0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。 <http://www.tottori-mlit.go.jp/river/conference/>